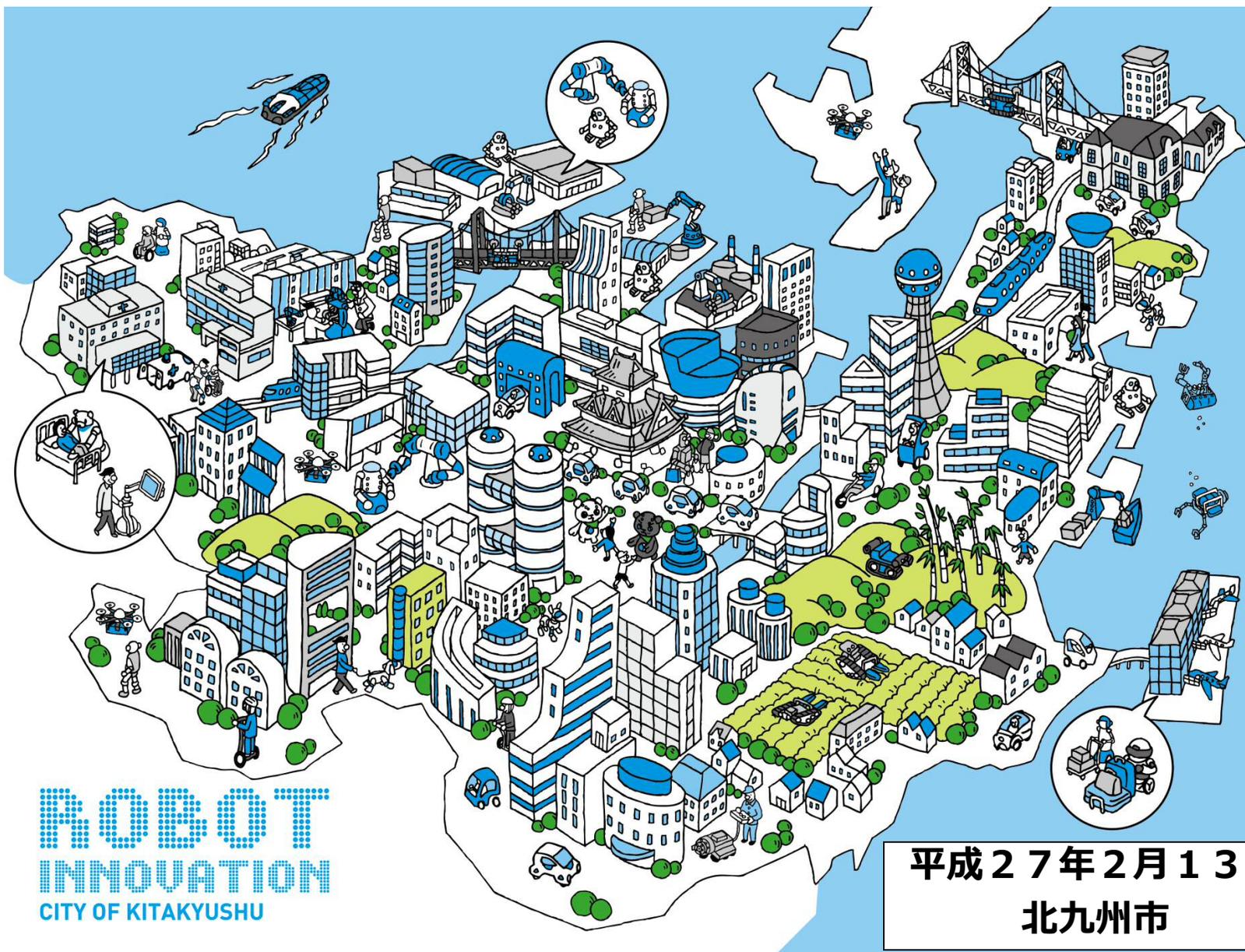


近未来技術実証特区のご提案 ～ロボット社会創造特区～



北九州市の最近の実証事例



提案の背景

日本・北九州市の抱える課題

- 少子高齢化の進展による
 - ・生産労働人口の減少
 - ・社会保障費の増大
- 老朽インフラの維持管理 など

ロボットテクノロジーの活用

ロボット活用による目指す姿

- 生産性向上による国際競争力強化や人手不足解消
- 健康余命延伸
- 生活の利便性向上、安全・安心のまちづくり
- 社会資本の効率的な維持管理 など

北九州市のポテンシャル

- 産業用ロボットで世界トップシェアを誇る(株)安川電機
- ロボット研究者が集積する九州工業大学の社会ロボット具現化センター
- 産業医の養成と労働安全衛生に関する研究を行う我が国唯一の大学である産業医科大学
- 市内三大学(九工大・北九州市大、早稲田大)が共同で設置したロボット等の専門人材を育成する連携大学院及び完全自律走行車の開発を目指す自動運転・安全運転研究センター
- 中小企業の生産性向上等を支援する産業用ロボット導入支援センター
- 介護・福祉用ロボットの導入支援を行う福祉用具プラザ北九州 など

ロボット活用による豊かな社会を実現するために

労働現場や生活の場におけるロボット活用の実証とそのための環境整備が不可欠

提案概要

- ロボット等の先進技術を活用し、高齢化社会の進展に伴う労働力不足や老朽インフラの維持管理等の課題に対応

自動走行



- 公道での自動走行実証
- 駐車場からの呼び出し・車庫入れ実証
- 隊列走行実証

規制改革等提案

- 自動走行の規制緩和
- 無線走行車の速度制限の緩和
- 道路使用許可の取扱基準の緩和 など

アシストツール



- 工場・介護・農業等の様々な現場での導入実証
- 実証結果を踏まえたアシストツールの特性評価・人体への影響評価

規制改革等提案

- 導入・実証プロセスの標準化
- 実証で得た個人情報の取扱いに係る共通ルールの策定 など

自動飛行



- 複数機による編隊飛行観測実証
- 高高度空撮実証
- 飛行ロボットによるインフラ点検の実証

規制改革等提案

- 飛行高度の制限の緩和
- 長距離通信電波の強度制限の緩和
- インフラ点検における「近接目視」作業の緩和 など